

平成29年度 指定管理業務 評価票

二色の浜公園	【指定管理者】 二色の浜公園管理連合会	【指定期間】 平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
--------	------------------------	----------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <p>① 水上オートバイ施設利用者に対し、安全啓発活動を実施し、海難事故は0件であった。</p> <p>② 日次、月次、遊具精密点検(年1回)を実施し、遊具の事故を防いだ。</p> <p>③ スポーツ施設の管理は、計画書とおりに実施</p> <p>④ 野外炉は、計画とおりに実施し利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>⑤ 浜屋顔の保護に努め、群生が拡大している。</p> <p>⑥ 水上オートバイ国家試験会場として活用し、国家試験実施回数年間15回実施。受験者166名</p> <p>【自己評価】</p> <p>府営公園管理要項や二色の浜公園管理マニュアルを十分理解し、公平かつ平等な公園利用の推進を図り、公園利用者の皆さんへの案内やサービスの向上を図り、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 二色の浜公園の特徴である海辺のレジャーに親しめる「海に親しめる公園」として、水上オートバイ利用者の安全航行はもとより、利便性の向上を目的として器材等の販売、走行中に発生した故障に対する船体整備や航行不能に陥った艇の曳航サービス等を原則実費ではありますが、利便性の向上を図りました。</p> <p>また水難事故を防ぐ為園内放送を実施しました。水上オートバイ利用者に対して、ライフジャケットの無料貸し出しを実施し、水難事故を防ぎました。</p> <p>② 遊具点検 各点検を実施し、遊具専門業者からの安全面に関する指摘項目を確実に是正し、また、巡視員による日常点検を実施することにより、遊具利用時の安全を確保しました。</p> <p>③ 運動施設 各種スポーツ施設において、利用者が快適にスポーツレクリエーションを楽しめるようメンテナンスを行いました。</p> <p>テニスコート内の清掃、整備 野球場のグラウンド整備(怪我を防ぐ為、小石の除去や外野の芝生整備)を実施しました。</p> <p>④ 野外炉 従来からの電話予約に加え、インターネット予約システムを導入後は、パソコンやスマートフォンからでも24時間予約できることにより利用者の利便性を高め、利用率の向上を図るとともに、使用後の清掃を徹底し、清潔で良好な維持管理に努めました。</p> <p>⑤ 海浜植物の群落の保護・養成 貴重な海浜植物群落の保護拡大に努めました。沢地区、海浜地区の浜屋顔群落を保護しました。</p> <p>⑥ 二色の浜公園海浜緑地水上オートバイ利用者の増加を図る為、「安全かつ適正な特殊小型船舶操縦士免許の講習会」を実施し、併せて国土交通省が実施する小型船舶操縦免許国家試験会場として活用しました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○水上オートバイ施設利用者の安全な機材の利用やマナー意識の啓発のための指導を行っている。</p> <p>○予約申し込みが輻輳する野外炉の予約をパソコンやスマートフォンからアクセスできるシステムを構築して、施設の稼働率と利用者の利便性の向上を図った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>水上オートバイ施設利用者向けのサービスや、野外炉のネット予約システムの構築など、利便性の向上を図った点などが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】 計画書とおりに実施しました。</p> <p>【自己評価】 府民の利用に際しては、府営公園管理要領を熟知し、平等な利用の推進、確保に努め、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 府営公園管理要領、公園管理マニュアル等を年度初めの繁忙期前に従業員が十分に理解できるように勉強会を実施し、公園利用者への案内やサービス向上を図り、公平、平等な利用促進に取り組みました。</p> <p>② 使用許可申請の平等な取り組み 受付担当者は申請時の内容を十分に熟読し受付業務や利用指導に際しては、府営公園管理要領等に基づき平等・公平かつ適正に行いました。</p> <p>③ スポーツ施設利用者からの「前回はよかった」や「車両進入の許可」などの要望を利用者の利用状況を見極めながら不公平にならぬ様に対応を心がけました。</p> <p>④ 公園最新情報の発信 当公園のホームページを有効に活用し広く情報を発信し「いつでも、だれもが」楽しく、利用できるような環境整備を行いました。</p> <p>⑤ ボランティア団体への協力 ボランティア団体の園内清掃ボランティアに対して清掃用具(火ばさみ、ゴミ袋、一輪車)の無償提供し、また園内にごみ収集場所を提供しました。</p> <p>⑥ オーバス利用については、担当職員がオーバス利用ルールを熟知し、利用者に対して利用時間等を説明し便宜を図ることのないように「公平・平等」利用に努めました。</p> <p>⑦ 利用者間のトラブル防止 だれもが快適に利用できるよう、ひとりひとりがルール・マナーを守り、他の利用者に迷惑が及ばないような公園創りを目指し、明るく、楽しい公園環境に努めました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○公園ホームページの内容を充実させ、誰もが利用しやすい公園であることのPRを行っている。</p>	A	<p>公園ホームページにおいて、誰もが利用しやすい公園として、PRしていることは評価できる。 引き続き、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <p>① スポーツ施設の早朝利用・タイム7を実施。 ② 水上オートバイ施設の水上の安全啓発に努めた。 ③ 有料バーベキュー施設のネット予約が定着した。 ④ 4月・5月GW期間、7月・8月の海水浴期間に臨時駐車場を開設し、公園利用者の利便性の向上に努めた。 ⑤ 二色の浜公園イベント実施状況 ・水間鉄道体験乗船会、海上安全教室 参加者 38人 8月26日実施 ・オータムフェス、マリンスポーツ体験乗船会 参加者 319人 10月1日実施 ・ウォーキングDay 12月10日実施予定 ⑥ 水上オートバイ関連のイベント ・全国・海外から多くの参加者が来園し二色の浜公園の知名度アップと利用促進活性化に貢献した。 ・全日本ジェットスポーツ選手権開幕戦 来園者数 6,032人 4月14日～4月16日実施 ・全日本ジェットスポーツ選手権最終戦 来園者数 6,612人 9月15日～17日 ・アクアボード選手権 来園者数 2,440人 9月23日～24日実施 ⑦ 環境学習イベント 近隣施設や学校と連携し、自然環境学習に協力しました。 ・親子釣り教室 雨天中止 ・稚魚の放流 6月10日実施。 ・二色の浜海岸 アマモ観察 7月9日実施。 ・さつまいも苗植え付け 5月22日 収穫 11月1日実施。地元園児20名参加 ・松のこも外し 平成30年3月上旬予定。 ⑧ 来園者数(平成29年4月～11月): 575,280人 (平成26年度 746,396人) (平成27年度 773,028人) (平成28年度 735,661人) ⑨ 稼働率(平成29年4月～11月平均): 有料バーベキュー施設稼働率27.0% (平成26年度 22.6%) (平成27年度 30.0%) (平成28年度 28.4%) ・稼働率(平成29年4月～11月平均): テニスコート稼働率 23% (平成26年度 26.0%) (平成27年度 23.6%) (平成28年度 24.0%) 平成29年度は、天候不良が続き特に10月は、週末に台風が接近し、来園者数が減り、利用料金収入減収の要因となった。</p> <p>【自己評価】 二色の浜公園を利用するすべての方が、安全・快適に利用できるように利便性向上を図る取り組みを積極的に行い、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 運動施設 ・スポーツ施設の利用時間は午前9時から午後5時までであり、多くの利用者への利用できるよう日没時間が遅くなる5月頃より利用時間帯の拡大を図りました。 ・早朝利用 午前7時から午前9時まで 5月中旬から8月中旬(毎日) ・夕刻利用 午後5時から午後7時まで 5月中旬から9月下旬 土、日、祝日 ② 水上オートバイ施設 ・利用者の安全確保が最重要と考え、安全の確保には不法改造や船舶検査の有無、操縦免許所持確認。監視員は海上安全指導員が常駐して安全で適正な利用の指導を行いました。 ③ 野外炉 ・インターネットでの予約システムを整備し利便性を高めるとともに、炭などの必需品も提供して利便性を図りました。 ④ 駐車場 ・繁忙期は常設駐車場では来園車両を収容できないため園内スポーツ広場などに臨時駐車場を開設し、幹線道路の渋滞防止と周辺道路への迷惑駐車防止を図りました。 ⑤ 公園施設の利用促進事業(イベント等の開催) ・マリンスポーツ体験乗船イベントやウォーキングイベントの開催。 ・公園施設の特性を生かした利用促進事業(イベント等の誘致) ⑥ 水上オートバイ競技の全日本大会等の開催。 ⑦ 公園施設の利用促進事業 自然学習型イベントへの協力。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○水上オートバイ関連イベントのほか、近隣施設や学校と協働で自然環境学習を開催するなど、様々な目的に対応した企画により利用者の増加と利便性の向上を図っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 水上オートバイ関連イベントなど、利用者の利便性向上を図る取組みを積極的に行い、利用者の増加にも繋げるなど適切に管理運営していることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)	<p>【実績】</p> <p>① 沢エリア 計画書とおりに実施し、収益事業の収益は、増加傾向にある。 【Dayキャンプエリア】 7月から実施。 【マリンスポーツ体験エリア】各種マリンスポーツ体験 平成29年7月から実施 【レンタルBBQ】 器材のレンタル 4月から実施</p> <p>②海浜エリア 【Dayキャンプエリア】 平成30年4月から実施予定。 【レンタルBBQ】 器材のレンタル 平成29年4月から実施 【カフェ】臨時売店、キッチンカーによる飲食の販売。 5月3日から7日、8月11日から16日のお盆期間に実施 【ドッグラン】 施設改善工事が必要な為、試験的に実施予定 11月末時点の収支 集計中</p> <p>【自己評価】 今年度から収益事業タイトル『アウトドアとマリンスポーツをつなぐ!』を実施しました。 特に沢エリアで、実施した次の収益事業は、開始直後にTV局の情報番組で放送されたため、好評となり施設の利用に繋がりました。</p> <p>① 沢エリア 【Dayキャンプエリア】 【マリンスポーツ体験エリア】各種マリンスポーツ体験 【レンタルBBQ】 器材のレンタル</p> <p>② 海浜エリアは、従来からの有料バーベキュー施設に加えて下記の収益事業を実施した。 【Dayキャンプエリア】 【レンタルBBQ】 器材のレンタル 【カフェ】 臨時売店、キッチンカーによる飲食の販売 【ドッグラン】 平成30年3月の実施予定。環境整備中</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○事業のPDCAを重ねることにより収益が増加していることから、着実な成果が上がっている。繁忙期に次々と来園者にとって目新しい事業を時期を外さずプロモーションすることにより、メディア取材や事業の情報発信により持続的な事業展開を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書、公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施されている。メディアを利用したプロモーション展開により、来園者増につなげたことは、評価できる。</p> <p>引き続き工夫を凝らし、更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接客等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <p>① 計画書とおりに実施 毎朝、従業員のミーティングを実施。 ② 計画書とおりに実施 公園管理スタッフのスマイル写真を掲示 ③ 毎年7月～8月の毎日警備員を2名配置し、来園者からの苦情や園内でのトラブルの防止に繋がった。 苦情件数 (平成26年度 447件) (平成27年度 325件) (平成28年度 183件) (平成29年11月末現在 24件)</p> <p>④ 夜間閉鎖実施期間 平成29年7月1日～9月3日 午後10時～翌朝午前5時 ⑤ 全従業員を対象とした講習会・研修会を実施した。 人権研修年12月16日実施・手話講習 平成30年2月17日実施予定 AED講習 平成30年2月実施予定・接遇講習 平成30年3月実施予定 ⑥ 水上オートバイの利用者の事故件数は0件 ⑦ 二色の浜海水浴場に乗り入れる水上オートバイは0件 ⑧ さくら猫不妊活動を実施 平成29年度5匹。野良猫に関する苦情は減少傾向にある。(平成27年 21匹) (平成28年 7匹)</p> <p>【自己評価】 苦情やトラブルの未然防止に努め、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 時期によって予想される利用者からの苦情対応や注意方法の再確認を行うと共に、日々園内で発生した事に対する情報の共有を行いました。 ② 公園の「見える化」を実施し、利用者には安心感を、従業員には責任感を高めることが出来ました。 ③ 公園の防犯と安全性の確保のため、年間を通して、巡視を実施し、利用者の音響機器の持ち込みによる騒音トラブルの防止、飲酒による利用者間のトラブルの抑制出来ました。 また防犯カメラの設置による軽犯罪、悪戯行為の事前防止をすることができました。 ④ 近隣住民への花火等の騒音苦情防止をすることができました。 ⑤ 外部講師を招き講習会実施しました。 ⑥ 水上オートバイ利用者に対し、行政関係機関と船舶免許確認と船舶検査証の確認のパトロールを実施し、安全を確保しました。 ⑦ 水上オートバイ施設利用者に対しては、7月・8月の海水浴期間中の海水浴場乗り入れ禁止の指導を実施。 その結果、水上オートバイ施設利用者の乗り入れ水上オートバイは無く、水上交通の安全確保に寄与しました。 ⑧ 園内に生息する野良猫対策として、地域住民(餌やり)の方と協力し、猫の避妊手術を実施し、苦情が減少しました。</p>	S	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施しており、応募時の提案以上に成果を上げている。</p> <p>○海辺のレジャーに親しめる公園であるため、夏期繁忙期の海水浴やバーベキュー施設利用者による飲酒やマナーの問題により利用者間のトラブルが懸念されるが、警備員による巡視や職員の接遇技術の向上などのトラブル未然防止に努め、苦情件数が大幅に削減(27年度:325件 28年度:183件 29年度:24件 11月末時点)し、利用者の安全確保に努めていることを非常に高く評価したい。</p>	S	<p>夏期の警備強化や、職員の接遇技術の向上などによる苦情件数の大幅な減少は高く評価できる。</p> <p>引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> 計画書どおりに除草、樹木管理、花壇管理を実施し、特に重要公園施設である「松林」の適正な維持・管理を行いました。 ① 沢地区 黒松の薬剤散布 5月8日、6月16日(年2回)実施。脇浜・海浜地区の薬剤散布 6月5日(年1回)実施。 ② 松枯れによる伐採数 沢地区 3本・脇浜・海浜地区 57本 ③ 松枯れがこれ以上拡散しない処置として、沢地区の黒松に松枯れ防止樹幹注入剤を施工し、他の松への伝染を防ぐため早急に対策を実施。10月31日。 ④ 松のこも巻き 11月30日。 ⑤ 松林は、適宜に剪定を実施し、大規模な剪定作業は専門業者を招き年1回 閑散期である毎年1月に実施予定。 <p>【自己評価】</p> 管理要領以上に適宜実施し、次のとおり適正に業務を遂行することができました。 ① 府営公園管理要領及び公園管理マニュアルより、規定回数以上の除草を行いました。 ② 繁忙期を前に、剪定作業、薬剤散布を実施し、来園者が快適・安全に利用できるよう管理を行った。 ③ 花壇管理については、年2回植栽し、季節感を演出しました。 ④ 二色の浜公園に隣接する住居に対しての越境剪定を実施して、迷惑のならないように配慮しています。	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。 ○主要植物のクロマツ等の松枯れ対策の早急な処置と薬剤注入による樹勢回復を図り、松林の景観保全に努めている。	A	事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。 主要植物であるクロマツ管理の取組みが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> ① 園内清掃 : 計画以上に実施し、園内の維持管理・美化に努めた。 ② トイレ清掃 : 計画以上に実施し、園内の維持管理に努めた。0-157対策を7月から9月に実施 ③ ボランティア清掃活動回数 18回実施 (火ばさみ、一輪車、ごみ袋の無償提供を実施) <p>【自己評価】</p> 次のとおり適正に業務を遂行することができました。 ① 府営公園管理要領及び公園管理マニュアルより、規定回数以上を実施し公園の美化に努めました。 ② 平日の3日に加え、繁忙期の土日祝日を追加し、衛生管理に努めました。 ③ ボランティア活動に対する協力を積極的に行った。	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。 ○園内清掃やトイレ清掃の頻度を高めることにより利用環境の向上を図っているほか、ボランティアによる公園維持管理活動の拡大に向けた協力支援を行っている。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 なかでも、園内清掃・トイレ清掃に関して、繁忙期などの利用者数に応じた管理作業が評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <p>①~④ スポーツ施設 利用状況 (平成26年度 2,482件) (平成27年度 2,775件) (平成28年度 2,807件) (平成29年度 11月末 1,782件)</p> <p>⑤水上オートバイ利用台数 (平成26年度 2,493台) (平成27年度 2,474台) (平成28年度 2,386台) (平成29年度11月末 2,037台)</p> <p>水上オートバイ登録台数 (平成26年度 299台) (平成27年度 290台) (平成28年度 266台) (平成29年11月末 227台)</p> <p>【自己評価】 府営公園管理要領及び公園管理マニュアルより、規定回数以上の維持管理を実施し、いつでも良好な状態で使用できるように努めた。</p> <p>運動施設は、次のとおり維持管理を行った。 使用時間 午前9時~午後5時 季節によりタイム7・早朝利用を実施</p> <p>① 軟式野球場 利用者が安心して楽しめるグラウンド整備に努めた。 通常管理 週1回 点検・清掃・除草・散水・表面整正、排水施設清掃 管理A 月1回 部分掻き起こし、敷き均し、転圧、排水施設清掃 年間4回 苦汁散布、芝刈り12回/年 施肥3回</p> <p>② 球技広場 身近なスポーツ広場として楽しめるレベルの管理を実施 通常管理週1回 点検・清掃・除草・散水・表面整正、排水施設清掃 管理C月1回 部分掻き起こし、敷き均し、転圧、排水施設清掃 年間4回 苦汁散布、年1回、掻き起こし、敷き均し、転圧、仕上げ補修等</p> <p>③ テニスコート 誰もが安全に気軽にプレーできるコート管理 日常管理1回/2週 点検・清掃・除草・散水・表面整正 定期管理1回/月(年間12回)排水施設清掃、ネット点検、人工芝の点検</p> <p>④ スポーツ広場 多目的スポーツ広場として利用できる管理を実施 定期管理1回/日 点検、清掃、除草</p> <p>⑤ 水上オートバイ施設 海上安全指導員を配置し水難事故防止 通常管理1回/日 斜路施設の点検、安全ブイの確認等</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○運動施設の維持管理日報を作成し、施設の利用状態を常に良好に保持するための適切な管理を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 運動施設の維持管理日報の作成など、施設の利用状態を常に良好に保持するための適切な管理を行っていることは、評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>① 二色の浜海水浴場管理者と、水難事故発生時の連絡体制を確認した。</p> <p>② 潮干狩りや海水浴シーズンの関係車両の園内通行許可証の発行。</p> <p>③ 海水浴や潮干狩りに訪れる来園者の迷子や落し物、苦情等の連絡の連携を図るためにトラブルの発生を防ぐように努めました。</p> <p>④ 二色の浜海岸の漂着ごみ(医療針、ガラス等)に関する情報を大阪府港湾局と連携し、海岸利用者へ安全対策を告知してまいりました。</p> <p>⑤ 府港湾局に協力し、海岸美化運動に参加して環境の維持に努めました。</p> <p>⑥ 二色の浜海水浴場にオイルフェンス設置の協力</p> <p>計画書とおりに実施し、平成29年度二色の浜公園内の水難事故は、0件でした。</p> <p>【自己評価】</p> <p>大阪府港湾局、貝塚市と協力し、上記の実績のとおり適正に業務を遂行することができました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○海水浴や潮干狩り利用者への対応のほか、海岸利用の安全確保のための清掃活動やトラブル防止のための関係行政機関との連携を強化し、水難事故ゼロを達成している。</p>	A	<p>海岸利用者対応や清掃活動への協力を行うなど、適切に維持管理されていることが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>① 稚魚放流 6月10日実施 アマモ調査 7月9日実施</p> <p>② さつま芋の植え付け5月22日実施、さつま芋掘り11月1日実施、松のこも外し平成30年3月実施予定</p> <p>③ 近木川ワンド活動は、活動実績なし。</p> <p>【自己評価】</p> <p>自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みは、計画書どおりに実施することができました。</p> <p>① 海浜植物保存区域(3か所)の保護と維持及び拡大に努めるとともに、貝塚市自然遊学館を通じての学習の場としての提供を行いました。</p> <p>② 環境体験学習の実施(さつまいも生育体験・ヒラメ稚魚放流・松のこもはずし)</p> <p>③ 近木川ワンドの活動に対して、毎年ライフジャケットの無償貸与を行いました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○季節の風物詩である「松のこもはずし」体験や貝塚市自然遊学館による環境教育の機会の提供を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>「松のこも外し体験」や近隣施設と連携した環境教育の機会の提供を行っていることが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <p>① 園内遊具の事故未然防止策 従業員による毎日点検、月次点検を実施。遊具専門業者による定期点検を年1回実施し、遊具の事故防止に努めました。平成30年1月実施予定。</p> <p>② 水上オートバイ施設利用者の専門知識のある職員による施設利用登録実施しました。水上オートバイ登録件数 11月末 227件(平成28年度 266件)</p> <p>③ 二色の浜公園区域内の砂浜・砂利浜の陥没調査の実施(年2回) 陥没調査を実施。陥没箇所なし。(二色の浜海岸 6月・10月)(海浜緑地4月・10月)</p> <p>④ 巡視員2名1組で、毎日午前・午後の2回巡視を行い園内施設の瑕疵、危険箇所の発見、を行う。又月1回夜間巡視を行い園内の照明灯の点灯チェックを行いました。</p> <p>⑤ 日常巡視において瑕疵が発見された場合は早期に修理もしくは利用中止の処置を行いました。</p> <p>⑥ トイレ・手洗い場の消毒などの衛生管理を徹底し利用者への感染症防止の啓発。0-157 対策 7月から9月に実施。</p> <p>⑦ 地元警察によるパトロールの要請、夏季の夜間閉鎖などを行い犯罪を未然に防ぐ対策を実施しました。</p> <p>二色の浜公園沢地区 夜間閉鎖 7月1日から9月3日</p> <p>⑧ 園内放送を実施し来園者を危害から守る対策を図りました。</p> <p>【自己評価】</p> <p>防犯対策は関係機関と連携して効果は高まっており事故を未然に防ぐ事ができ、計画どおり実施できました。</p> <p>・夏休み期間「貝塚市安全な町づくり推進協議会」に協力し、公園内の防犯活動を行いました。</p> <p>・二色の浜公園(沢地区)、海浜緑地に防犯カメラ設置し、その結果、犯罪、悪戯の抑止に成果が見られるようになりました。</p> <p>・来園者に危険を及ぼす補修・修繕については、早期発見に努め最優先に行いました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○園内巡視の頻度を高め、施設設備の不具合等の早期発見と必要な処置を行い、事故防止に努めている。</p> <p>○夏期繁忙期の地元警察によるパトロールや夜間閉鎖対応が犯罪への抑止力として効果を上げている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>園内巡視の頻度を高め、施設設備の不具合等の早期発見により事故防止に努めている点などが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <p>① 「二色の浜公園非常時業務実施要領」にもとづき非常時訓練の実施及び実施要領の再確認を行いました。</p> <p>② 暴風波浪警報発生時の園内閉鎖実務に備えて配置要員、備品等の再確認を実施しました。</p> <p>二色の浜公園 平成29年度非常勤体制日数 4月17日 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 6月21日 大雨警報発令 8月 7日 台風5号 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 9月17日 台風18号 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 10月22日 台風21号 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 10月29日 台風22号 大雨警報発令</p> <p>③ 6月19日 大阪府風水害伝達訓練に参加。</p> <p>④ 門扉開閉点検後 不具合異常なし。</p> <p>⑤ 大阪府水難救済会に加入済</p> <p>⑥ 備品等点検済</p> <p>⑦ 二色の浜公園海浜緑地でおこなわれる「3機関合同訓練」に参加し、水難事故が発生した場合の救難訓練及び連絡体制の確認を行い、周辺海域の安全確保に寄与しました。 実施日：6月19日 参加機関：岸和田海上保安署、貝塚市消防署、貝塚警察署、二色の浜公園管理連合会 水上オートバイ施設の担当職員は、海上安全指導員講習を受講予定。平成30年1月予定。 (海上安全指導員 資格者3名)</p> <p>【自己評価】</p> <p>平成29年は、計6回気象警報が発令されましたが、非常時出勤体制(3名)を配備し、定期的に園内巡回を実施することにより、倒木等や危険個所の早期発見に努め、大きな被害、来園者の怪我の確認作業を迅速に行い、安全対策を図りました。</p> <p>① 気象警報が発令された場合、津波注意報・警報が発令された場合の危機管理体制を確立 風水害はある程度の予想ができる災害であり「大阪防災ネットメール配信サービス」等を活用し情報を収集すると共に非常勤体制を配置</p> <p>② 特別警報、暴風警報、土砂災害警戒情報の発表があった場合、高潮警報又は津波警報、避難準備情報が発表された場合は公園の利用禁止又は制限をする。又解除する場合は大阪府と連携し行う。</p> <p>③ 大阪府と連携した情報伝達訓練に参加</p> <p>④ 園内閉鎖処置を行う時に備えて、点検(門扉の開閉状況等)を実施</p> <p>⑤ 大阪府が防災協定を締結した大阪府水難救済会に加入</p> <p>⑥ 災害がおきた場合に備えて必要な備品を常備いつでも使用できるよう点検する。</p> <p>⑦ 水難事故が発生した場合に備えて訓練を実施し、関係機関との連絡体制の確認</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○気象警報等発令時の体制構築や本府と連携した災害訓練を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>府の防災訓練への協力など、防災安全意識の向上に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ① 大阪府福祉部にホームレスに関する情報提供し、二色の浜公園現状を報告しました。 ② 大阪府ドクターヘリ運営事業にスポーツ広場を離発着場所として提供し、医療活動に協力しました。 利用実績0件 ③ 大阪府母子家庭等就業・自立支援センターからの雇用者1名、障がい者就業・生活支援センターからの雇用者3名は、勤続9年を経過している。また障がい者雇用率は、二色の浜公園管理連合会3社とも達成しています。C-STEP 加入済 ④ 府環境農林水産部環境管理室による二色の浜公園内での航空機騒音実態調査の園内車両乗り入れ等の協力。 ⑤ 潮干狩り前に実施する大阪府健康医療部食の安全推進課の貝毒検査の結果を園内放送、告知の協力。 ⑥ 飲酒運転防止策に協力し、注意喚起の園内放送を実施しています。 ⑦ 「なにわなんでも大阪検定」に継続して協力しています。 ⑧ 府治安対策課「こども110番月間」においての広報活動に協力 ⑨ 樹木、剪定枝をチップ化し、園内肥料として活用。 ⑩ エネルギー有効活用として、二色の浜公園外灯(9か所)をLED照明に変更済 ⑪ 平成27年4月より実施しているフロン機器の調査を継続実施し、定期的に点検、整備記録簿を作成しました。 ⑫ 防災フィールドキャラバンへの参加協力。(11月11日実施)</p> <p>【自己評価】 府との取り組みに積極的に協力し、適正に実施することができました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○行政への協力や公益事業への取り組みのほか、外灯のLED化を推進してエネルギーの消費効率を高める取り組みも積極的であり、十分な成果を上げている。</p> <p>○また、就業支援事業や府民協働、環境問題についても本府の施策を理解し、計画どおりの実績が上がった。</p>	A	<p>就労支援事業、環境問題についても、府の施策へ積極的に協力し、適切な管理運営が行われている点は評価できる。 引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 ① 指定管理者による、年2回アンケートを実施した。 第1回アンケート 7月20日から31日 200名 第2回アンケート 10月1日から10日 200名 合計400名実施 ② 総合的評価全般的な満足度、「1.4」という結果であるが、平均を下回っている項目があり、更なる努力を重ねてまいります。 ③ 植物管理については、1.45点平均点であったが、草刈り、黒松の管理が1.4点であった。 ④ 施設管理については、1.25点と平均を下回っており、清掃と老朽化した施設の改善を図ってまいります。 ⑤ サービスについては、0.83点と平均を下回っており、売店・サービス施設は0.2点と低く今後の課題にしたいと思います。 イベントに関してのポイントが0.6ポイントが低くなっているため、内容を調査し改善を図ってまいります。ホームページやイベントの案内が、0.7点と低くなっているため、内容を調査し改善を図ってまいります。</p> <p>【自己評価】 ・老朽化が進んだ場所から、修繕費にて改善を図り、収益事業の収入を財源として幼児用おむつ交換台の設置を進める。 ・繁忙期は、清掃回数を増やして清潔なトイレを心がけ、巡視要員は、破損や汚れの点検も併せて行う。 ・収益事業の受付テントで、飲料水の販売を検討する。</p>	A	<p>全般的な満足度が「1.4」と水準以上の評価を得ている。各項目とも水準以上の評価であるが、アンケート結果から新たな課題と改善策を調査研究する姿勢を示している。</p>	A	<p>総合的な満足度は良好であり、適切な管理運営に努めている。 売店サービスなど、公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】 ホームページの更新回数を増やして、情報発信を積極的におこなった。</p> <p>【自己評価】 昨年度より、アンケート実施時期を夏の繁忙期と秋の行楽シーズンに行ったことにより、より実態に近いアンケート結果となった。 特にサービスに関してアンケート結果は、真摯に受け止め改善できることから実施してまいります。</p>	A	<p>公園ホームページの更新頻度を高め、積極的な公園PRを行った。 繁忙期にアンケートを実施したことにより、回答内容に偏りがなくより実態に近い数値を得られるとともに、様々な意見から気づきの改善策が確認できたことは、長期的な公園の魅力発信のための情報源となった。</p>	A	<p>前年度低い評価を受けた公園ホームページについて、更新頻度を高め、積極的な公園PRを行った点などが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言																														
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>① 4月16日まで設置し、地元住民から好評であった。</p> <p>② 大型炉の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 2016年</th> <th>H29 2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>3</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価】</p> <p>① 沢地区スポーツ広場前に桜提灯を設置。</p> <p>② 海浜緑地有料バーベキュー施設大型炉に屋根を設置し、利用者増加に努めた。</p>		H28 2016年	H29 2017年	4月	5	5	5月	0	11	6月	4	15	7月	5	15	8月	3	16	9月	0	6	10月	1	5	11月	0	3		18	76		S	<p>○特に、指定管理者の独自予算で野外のバーベキュー施設大型炉に屋根を設置し、雨天でも快適に施設を利用できるように取り組んだ。</p> <p>○その結果、大型炉の利用件数が前年度の18件から76件と大幅に増加しており、意欲的に事業の収益性を高める取り組みは非常に高く評価したい。</p>	S	指定管理者の独自予算で、野外のバーベキュー施設大型炉に屋根を設置し、雨天でも快適に施設を利用できるように取り組み、利用件数の大幅アップを達成した点などが高く評価できる。今後とも、積極的な取り組みを期待する。
	H28 2016年	H29 2017年																																			
4月	5	5																																			
5月	0	11																																			
6月	4	15																																			
7月	5	15																																			
8月	3	16																																			
9月	0	6																																			
10月	1	5																																			
11月	0	3																																			
	18	76																																			
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目																																					
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <p>天候不良により、利用料金収入が減収している。</p> <p>【自己評価】</p> <p>収入は、若干減収の予定。支出面においては、計画どおり予算執行できる見込みであります。</p>		A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。																														

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 職員を最低限以上のポスト数を配置し、大きな事故や苦情もなく公園運営を行いました。 【自己評価】 ① 計画どおりの管理体制を構築しました。また繁忙期は、当会の警備員を増員し安全管理に努めました。 ② 繁忙期には、貝塚シルバー人材センターの人員を増員し園内の清掃回数を増やし、衛生管理に努めました。 ③ 適正な公園管理を行うため、公園管理運営士を常勤(職員1名)にて配備	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実行した。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ① 1級造園施工管理技士 宮原 聖 (株)寿楽園 ② 防火管理者(甲種) 岡田一博、藤井薫、田淵比早子 3名 公益財団法人マリンスポーツ財団 【自己評価】 ①② 常勤にて配置している。	A	必置義務者が適正に配置されていた。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 夏場の従業員熱中症対策として、適度な休憩と飲料水を準備して従業員の健康管理に努めた。資格のある作業は、有資格者がおこなっている。 また、公園利用者、従業員の安全確認の為 作業は複数名でおこなっている。 未資格者は、12月に資格講習受講 ・刈り払い機講習 受講者3名 12月19日実施 ・チェーンソー講習 受講者3名 12月7日・8日実施 【自己評価】 従業員への安全教育・訓練の実施及び体調管理に配慮しました。	A	安全衛生管理の計画と活動を体系的に実施し、怪我や健康被害が発生する恐れがある場所や作業における対応策もできていた。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 大阪府監査委員事務局の外部監査を受ける。 有限責任あずさ監査法人が、監査を実施した。(11月16日~17日実施) 【自己評価】 ① 経営状況に大きな変化はなく、指定管理業務の収支も予定どおり。 ② 全体的に連合会(構成団体)として、財務状況は概ね良好である。	A	法人全体の経営状況に大きな変化はなく、財務諸表から安定した指定管理業務ができています。	A	財政状態はおおむね良好であるが、経常収益に増減が大きい構成団体がある。